

**北日本**  
■安保法廃止求め集会 9月に成立した安全保障関連法に反対する「戦争法廃止! 県民集会」が富山市新富町のCIC前広場で開かれ、集まった約250人(主催者発表)が同法の廃止を訴えた。

県平和運動センター、安保破棄実行委、自由法曹団県支部の3団体でつくる実行委が企画。呼び掛け人を代表して青島明生弁護士、社民党の岡崎信也県議、共産党県委員の高橋渡書記長が「憲法を踏みにじる安倍政権を許さない」「テロの危険を高めるだけだ」などとあいさつした。「戦争法を廃止するため、共同の輪を広げる」とする集会アピールを採択した。

県平和運動センターの山崎彰議長の発声でガンバローを三唱し、駅周辺でデモ行進を繰り広げた。



**北北**  
「志賀原発は廃炉に」  
水見で講演会

北陸電力志賀原発(石川県志賀町)の敷地内断層について考える講演会が21日、水見市いきいき元気館で開かれた。核・エネルギー問題情報センターの兒玉一八理事が「原発の直下と周辺に活断層―志賀原発は廃炉しかない―」と題して講演し、自ら原発周辺で実施した断層の調査結果などを基に見解を語った。開演に先立ち、講演会実行委員会代表の菅沢裕明県議があいさつした。

**北北**  
イ病と原発事故  
共通点を説明  
語り継ぐ会が講演会

市民団体「イタイイタイ病を語り継ぐ会」は21日、富山市の県民共生センターでルポライター、鎌田慧さんの特別講演会を開いた。福島第1原発事故を「公害」と捉え、イ病との構造的な共通点を説明した。

鎌田さんは「イタイイタイ病とフクシマ」と題して講演。公害病や原発事故は地域が企業にのみ込まれた結果と言いつつ、一人々に迷惑を掛けるもの



「一人々に迷惑を掛けるものだけ、人間のモラルに反する」と話す鎌田さん―県民共生センター

約240人が参加。原発事故発生から5度目の冬を前に事故とイ病をあらためて見つめようと、語り継ぐ会が企画した。講演に先立ち、向井嘉之代表があいさつした。

## 戦争法廃止!

### 富山県民集会 第2弾

アベ政治を許さない

暴走する安倍政権の退陣を

日時: 12月10日(木) 18時30分~  
会場: 富山駅前・CIC前広場 (集会終了後、デモ行進)

24(火) 県勤労連総会 18:00 自治労会館

25(水) 憲法フェスタ実行委員会 18:30 自治労会館

新川B平和C定期総会 18:45 サニットホテル

26(木) 護憲幹事会 18:00 自治労会館

27(金)・28(土) 食みどり水全国集会(金沢)